

BCAO静岡地域勉強会 活動報告

- (1) 位置づけ(産・学・官との連携)
- (2) 静岡地域勉強会の活動状況
- (3) 活動結果の評価
- (4) 活動によりわかったこと
- (5) 今後の方向

BCP普及率全国1位

静岡地域勉強会の挑戦。



位置づけ（産学官との連携）



BCAO静岡地域勉強会が
支援を強化致します

静岡地域勉強会の支援活動

静岡県のBCP普及促進支援活動

産学官と連携しています

静岡県企業メンバー交流の場を提供

事業継続の共通テーマで情報共有致します

勉強会メンバーへBCAO情報提供

BCAO認定講師の講演・BCAOテキスト説明・事業継続各種情報提供等を行います

企業のBCP策定支援の場を提供

コンサルタントは受けられませんが企業担当者の皆様と一緒に相互補完して自社のBCPを策定して頂きます

企業のBCP策定者育成

BCAO教材等を使用し企業のBCP策定者を対象に教育・訓練を行います

活動状況

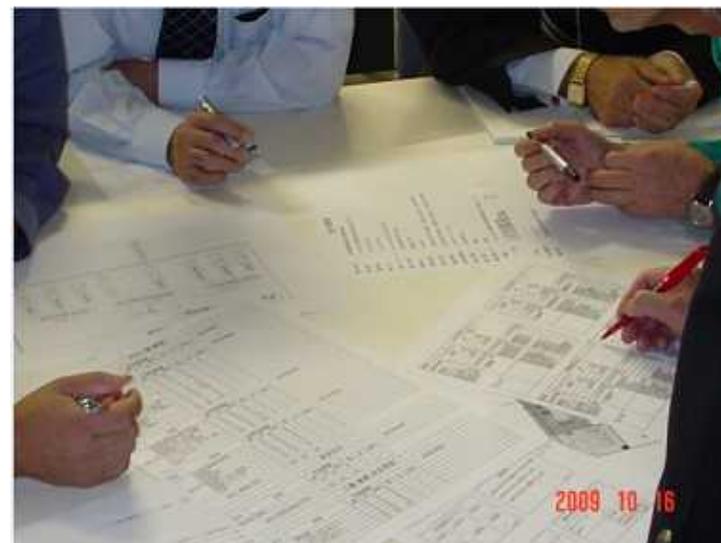
回数	開催日	内 容
第1回	2008.8.1	発足会、意見交換会
第2回	2008.9.8	講演（細坪BCAO事務局長） ・ステップアップガイド改定の骨子説明 ・新型インフルエンザテキスト（PPT版）の説明 意見交換会
第1回 静岡セミナー	2008.10.24	講演（静岡県産業部商業局商工振興室 渥美室長、BCAO 細坪事務局長、 富士常葉大学 池田教授、富士常葉大学院 武田氏、BCAO 伊藤理事） パネルディスカッション（渥美氏、池田氏、伊藤氏、石井氏、細坪氏） テーマ「静岡県の事業継続普及にむけて」
第3回	2008.11.12	講演（奥山） ・事業継続マネジメントシステムの構築と実践 意見交換会
第4回	2008.12.5	静岡セミナーアンケート結果報告 BCAO本部活動報告 意見交換会
第5回	2009.1.29	会員活動報告 意見交換会
第6回	2009.3.17	地震リスク シミュレーション訓練 第1部 意見交換会
第7回	2009.4.14	地震リスク シミュレーション訓練 第2部 意見交換会
第8回（中止）	2009.5.15	地震リスク シミュレーション訓練 第3部 意見交換会 新型インフルエンザ感染拡大防止のため中止

活動状況

回数	開催日	内 容
第 8 回	2009.9.15	講演（細坪BCAO事務局長） テーマ：新型インフルエンザを想定したBCP策定に関して」
第 9 回	2009.10.16	机上演習（細坪BCAO事務局長） テーマ：新型インフルエンザのシミュレーション訓練」
第 10 回	2009.11.19	討議 テーマ1：新型インフルエンザいろいろ テーマ2：静岡県のBCP普及促進について
第 11 回	2009.12.15	討議 テーマ：中堅・中小企業への事業継続計画策定にあたり、明らかになった「検討課題」「問題点」「成功と思われるアプローチ」
第 12 回	2010.1.21	意見交換会 BCAO標準テキスト解説（高橋准主任管理者・奥山）
第 13 回	2010.2.25	BCP普及に関する徳島県中小企業団体中央会との意見交換会
第 14 回	2010.3.18	BCAO企業アンケート集計結果報告 BCAO研究会・勉強会活動結果報告について

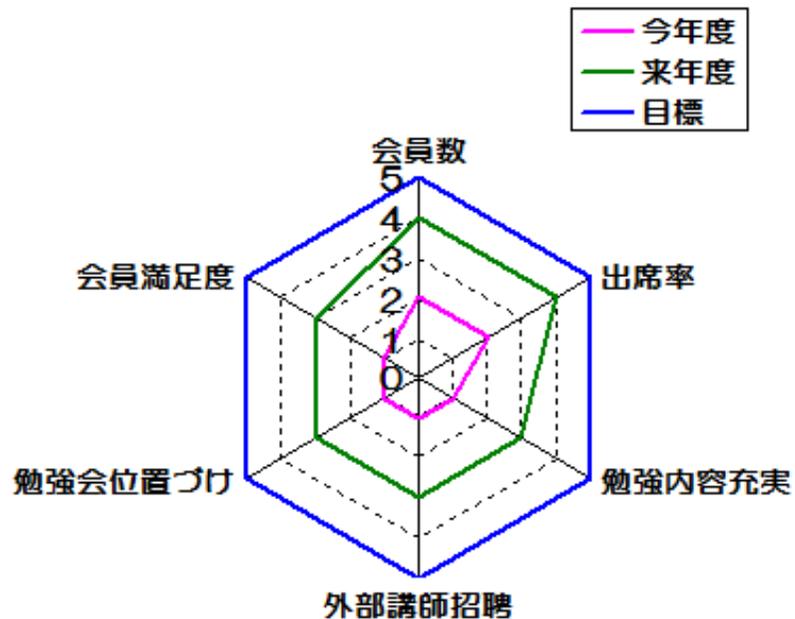
静岡地域勉強会の風景





活動結果の評価

静岡地域勉強会 自己評価



東京	3
神奈川	1
静岡	6

熱海、三島、新富士、静岡、掛川、浜松

- 1. 下田総合庁舎
- 2. 熱海総合庁舎
- 3. 東部総合庁舎
- 4. 富士総合庁舎
- 5. 静岡総合庁舎
- 6. 静岡総合庁舎
- 7. 中濃総合庁舎
- 8. 北濃総合庁舎
- 9. 浜松総合庁舎

項目	昨年度	本年度目標	結果	施策
会員数	19名	40名		商工会との共催セミナーを開催し参加をアピールする
出席率	50%	80%		開催場所を地域別に設定 左図を参照
勉強内容	意見交換	BCP作成		企業のBCP担当者間の交流や協業によるBCP作成実践
外部講師招聘	なし	2名以上		BCAO認定講師を招聘する
位置付け	立上げただけ	注目され見学者来訪		志を高く情熱を持って向かう
会員満足度	20%	50%		会員全員の相互協力で勉強会を盛り上げる

活動によりわかったこと

- BCP=地震対策の展開
 - 企業の目的（融資・補助金）
 - 指導者（コンサルタント）のレベル差
- BCPはプロセスと誤解
 - 戦略より方策（手段）優先
 - 公開されているガイド類を誤読
- マネジメントシステム（BCM）は後付け
 - 地震BCP（防災中心）
 - 新型インフルエンザBCP（感染症対策中心）

リスクマネジメント 事業継続 = (経営戦略 + 危機経営)

今後の方向

- 教材（地域モデル）の開発と活用
 - 官・産・民 連携型
 - 地域戦略型
- ユーザー勉強会の立上げ
 - 地域毎の開催